

テーマ別名刺交換会 記録シート

テーマ	働きづらさを抱える人の働く場のつくり方を考える				
リーダー	城（社会就労事業振興センター）				
進行補助	松井（グロー）	記録	濱谷（県社協）	参加者数	15名
<p>1. 課題提起されたこと、グループでの意見交換の視点（箇条書き）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者手帳のある方は作業所が利用できる。生活困窮の方は、生活困窮者自立支援事業等のサービス利用対象者への支援はすすんでいる。傍楽体験に参加している方、サポステ等利用されている方は、いきなりハローワークに行けない。 ・ 就職までのステップ、次のステップをつくりたい。 					
<p>2. 参加者の気づき、課題と感じていること（箇条書き）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長年ひきこもっている方は、実際、雇用に結びつきにくい。 ・ 常に働くことを意識するとしんどい。 ・ ひきこもりの方と話をした。誰かのためになりたいと思っていることわかった。 ・ 一日なら働けるという方がいる。 ・ 大卒、20年間職歴なしの方が面接に来た。その時は、職種が合わなかったが、法人として何かできることがあるのではないかと思った。その方にあった働く場をつくる。 ・ 生活困窮者自立支援事業のメニューはいろいろある。制度の狭間の方をどう支援につなぐか。 ・ すぐに仕事につながらない。孤立して生活している方が大半。地域で理解してくれる人を探している。家族もつらい思いしている。家族支援もしている。 ・ 罪を犯した人は就労につながらない、地域にもつながらない。 ・ 障害があるとわかったから生きづらさがなくなった。みんなにわかってもらうことで、配慮してもらえることある。苦手なことも伝える。 ・ 60代、70代で働きたいけど、働く場がない。 ・ 手帳のあるなしに関係なく働く場が実現できたらよい。 					
<p>3. 現場の課題に対応して、だれと、何を創造実践していきたいか（箇条書き）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な地域活動、資源が必要な方に届くようにコーディネート機能を強化。 ・ 社会のなかで、居場所や役割がない、誰からもあてにされないのはしんどい。 ・ しっかりとした雇用でなくてもよいので、仕事を切り出し働ける場があればよい。 ・ これまでの「傍楽」をつないできたサポステのような窓口となるところ（人）がさらに「縁」をつないでいく。 ・ ひきこもりがちな生活をおくる人たちが、時折、誰かから「ありがとう」と言われたり、気かけられるまちづくり。 ・ 働くことを通して、自分らしさをみつけてもらえるために、何かできないか考える。 					